

森づくり税関連2案が継続審査



秋田県議会 ● 会派 i b u k i

元気主義



継続 審議

● 月定例県議会

県政報告 & 会派いぶき活動レポート

2007 春 通巻17
平成19年7月26日

県は環境や公益性を重視した森づくりを推進し、森林資源の利用促進を図るために、その恩恵を受ける全県民から一定額を負担いただく「水と緑の森づくり税」の創設を進めていて、年間6億円程度の収入を見込んでいます。今議会では、その「徴収条例案」(税率は個人年間1千円、法人2千円〜8万円)と、徴収した税を積み立てる「基金条例案」の2件が提案されました。

使用道は、生育の悪い杉人工林の針広混交林化(約3億円)、松くい虫被害対策(約1億円)、ナラ枯れ防止等広葉樹林の保全(約1億3千万円)、県産材利用促進(約5千万円)、ボランティア団体への支援(約2千万円)などです。

県議会は、議員全員で「森林・林業・木材産業推進議員連盟」(通称林活議連)を組織して、森づくり税の実現に向けて活動してきました。

この経緯からいえば「可決」すべき議案です。しかし常任委員会では、定率減税の廃止等による増税感、今後提案が予想される子育て教育税など、県民の暮らしが苦しさを増す中で、森づくり税を課すことへの疑問が噴き上がりました。また事業内容がこれで良いのか、環境保全の方向性や考え方、活用プランなど、根本計画をもっと明確にしなければいけません。さらに森づくり税に対する県民への情報不足があります。これは会派いぶきが仙北市などで開いた「森づくり税の意見交換会」でも強く感じたことです。これらの理由により、本議案を継続して審査することにしました。県はもちろんです。議会が県民に対して説明責任を果たしてきたかを反省します。

継続審査を好機として、さらに森づくり税の方向性を探ります。



写真: 仙北市で開催した森づくり税勉強会

職員給与削減案の継続審議

今回の削減案は、県職員給与を臨時的に削減(率5〜3%で対象職員17400人)し、年間42億円を圧縮しようと言うものです。

行財政改革・民間との格差是正などから言えば給与削減は「可決」です。ただ、いくつかの点で問題があり継続審査を主張しました。

例えば 削減率(5〜3%)と削減期間2年の妥当性 県財政や地域経済への効果と影響の把握などです。それに執行部の労使慣行を軽視した進め方は、今後も県政運営に悪影響を及ぼしかねません。

「聖域なき行財政改革」

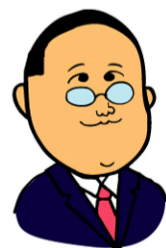
危険な状況の中で

県は平成20年〜21年の2年間で、歳出250億円(対19年度当初予算)の削減を目標に掲げました。

人件費の見直し(県職員給与の削減など)で56億円減、公債費(借金返済)で6億円の減、国体関連で61億円の減、歳出全般の見直しと事業の再構築(政策をゼロベアスから見直し)これまでの実施してきた事業や政策もゼロから積み直し)で127億円(表1)の減を実現するため、既にその作業に入っています。

表1 経費削減の分類

分類	削減目標額
施設維持管理の経常経費や行政運営の改善	11億円
各事業の個別精査と例外ない県単独補助金の見直し	98億円
公共投資事業の縮減	18億円
合計	127億円



みつひろ

● 議員報酬削減について

今回の議会開会中も、議員報酬の削減をテーマに会派代表者会議が開催されました。削減の方向性は決定事項となっていて、後はカット率を決めるだけです。3%から10%の中で決定しそうです。会派いぶきは10%を主張しています。



線香づくり

栃木県の今市を訪ねました。今市は野州線香（スギ線香）で有名です。線香づくりはスギ粉を生産する製粉所、それを原料に線香を生産する香業所に分かれています。

最初にお伺いした浅田製粉所は、昔ながらの水車づきを今に伝える数少ない製粉所です。スギの葉を半年ほど自然乾燥し、水車動力の杵で一昼夜半つき続けてスギ粉を生産していました。続いて、このスギ粉を使用して線香製造している友田香業所を訪ねました。

友田社長に生産工程をお聞きすると「スギ粉につなぎ材や香料、染料を加え、粘土状に練った原料を機械に入れて絞り出し、これを切り揃えて乾燥します。お母さんたちがこれを結束して出荷しています」と話してくれました。原料のスギ粉は慢性的に不足していて、「以前は秋田にも製粉所があって、香りも粘りも大変上質でした。また生産してくれたら市場も活気づくのですが」と、熱いエールをいただきました。

南部たこう焼き

広島生まれで大阪育ちの吉田壮一さんは、テレマーカーがしたくて平成12年に岩手県八幡平市に移り住んだ方です。いわてグリーンツーリズムサポートセンターで事務局を務めているうち、岩手の自然や食材、地産地消に興味を持ち、地元食材を使った『南部たこう焼き』と言う移動たこ焼き屋さんを始めました。

吉田さんは「たこうは多幸、地元の食材でたくさんの人を幸せにしたいと思って」とにこやかに話しました。

起業までをお聞きすると「平成18年11月からの営業で、必要な知識や考え方は県商工会連合会開催の創業塾で勉強しました。資金は国民生活金融公庫から300万円の融資を受け、営業車の改造に約半分。この車で県内を走り回っています」と話してくれました。

たこう焼きのタコは宮古産、生地は南部小麦、八幡平の卵、岩泉の水、醤油も花巻の無添加醤油とこだわりの自信作です。事業を興す秘訣を尋ねると「やるかやらないか」と言い切っていました。

創業・事業支援をご活用ください

※お問い合わせは…門脇みつひろ県政事務所
電話0187-52-5188

秋田県の企業支援メニュー例

秋田県は産業振興プラザを組織し、創業を目指す方や中小企業の事業支援を行っています。

- (日)創業支援補助金…新たに中小企業者として事業を実施したい方に、創業に要する経費と新規雇用に要する経費の一部を補助。最高額は200万円。第2回募集は8月1日～31日まで。
- (月)創業支援・創業準備事業…創業・起業化や新たな事業分野への進出、またはその準備を行う貸事務所、貸ブースを秋田市内に用意。ビジネスプランの策定や情報収集など(財) ばた企業活性化センターが支援。

国の企業支援メニュー例

中小企業庁では、創業を目指す皆さんに各種の支援制度を準備しています。

- (日)新総合融資制度…無担保、無保証人で融資を受けられる制度。貸付限度額は1,000万円。
- (月)スタートアップ支援事業…実用化、販路開拓などの資金を助成し、コンサルティング等一体的な支援。
- (火)創業塾・経営革新塾…創業や起業を考える方に、事業を開始する際の心構え、ビジネスプランの作成援助、融資制度の紹介など。

地域づくり懇談会にご参加を…可能性を『カタチ』に変えよう

「女性の元気は地域の元気」

- 日時:8月2日(木) 夜時
- 会場: 白岩集落センター
- 講師: 田山雪江さん(大館市)

講師の略歴

専業農家の主婦。大館市産直施設「陽気な母さんの店」友の会顧問。全国商工会議所女性連合会主催「女性起業化大賞受賞(平成16年)」他にも多数の受賞歴。女性の元気づくり全国を駆けめぐる。



「遊休施設活用と起業・創業」

- 日時:8月3日(金) 夜時
- 会場: 田沢交流センター
- 講師: 佐藤善友さん(秋田市)

講師の略歴

秋田県商工会連合会経営支援エキスパート、秋田大学講師、雇用能力開発機構アドバイザー、中小企業・ベンチャー企業総合支援センター常設アドバイザー。起業実績多数あり。



「内陸線の可能性」

- 日時:8月4日(土) 夜時
- 会場: 上桧木内紙風船館
- 講師: 石塚友寛さん(秋田市)

講師の略歴

神奈川県出身。元秋田県観光連盟専務理事。JR東日本秋田支社営業部長。弘前～角館間の内陸線經由のさくら号・もみじ号を企画し販売する。冬の小京都角館キャンペーンを手がける。



【県政報告】会派いぶき活動レポート

2007・夏号通巻17号 発行者: 代表門脇光浩
〒010-8570 秋田市山王4-1-1 秋田県議会棟内
電話018(860)2094 FAX018(860)2109

●門脇みつひろ事務所

〒014-0512 仙北市西木町上荒井字新屋10-1
電話0187(52)5188 FAX0187(52)5189
http://www.kadosan.com/

●淡路定明事務所

〒011-0942 秋田市土崎港東1丁目2-79
電話018(847)1915 FAX018(847)1914
http://homepage2.nifty.com/awajigaki/

●東海林洋事務所

〒019-0112 湯沢市下院内字常盤町107
電話・FAX0183(52)4703
http://作成中